

イバラキパック

尾形 尚子* 池本 周* 常世田 茂*

1. 緒 言

茨城は、南限・北限が交叉し、めずらしい動植物や農海山物資源が豊富ですが、全国には意外と認知されていない。そこで郷土の特産物と笠間焼を組み合わせ「イバラキパック」の商品化を試みた。これらのパッケージは、ネーミング自身も話題にのぼるような方言色の強いユニークなインパクトあるものとし、真壁の釉彩陶土器のおまけを付け、茨城物産の味を楽しむとともに、何が入っているか解らない、もうひとつのお楽しみを加え、お中元、お歳暮等のお使い物や、お土産等の販路拡大を考慮したものである。

2. 内 容

2.1 試作品

1. 極々んだっぺ！
(ビアマグ2と地ビールのセット)
2. 姿かくして味そのまんま！
(ビアマグ2・大鉢1と地ビール&納豆スナックのセット)
3. ヴィヴィ いがっぺ！
(ビアマグ2・大皿1・取り皿2と地ビール&筑波ハムのセット)
4. ワイン de ボンジュールだっぺ！
(ワインカップ2・小皿2とワイン&チーズのセット)
5. ムチムチーズ いかっぺ セニョール！
(ワインカップ2・大皿1・小皿2とワイン&チーズのセット)
6. アレ！アレ！サッケー！
(徳利2・ぐい呑み2と地酒のセット)
7. 酒 to 納豆 to 男 to 女 いいんでねえーけ！
(飯碗2と地酒&納の豆セット)
8. そば de よかっぺ！
(どんぶり2・平皿1・つゆ入れ1・そばちょこ1とそばのセット)
9. モウモウ うまかっぺ！
(牛乳カップ5と牛乳のセット)
10. ネバーネバ けえー！
(飯碗2と米&納豆のセット)

2.2 使用粘土

- ・笠間焼共同組合粘土
- ・真壁粘土（水簾）

2.3 成形方法

- ・ロクロ成形、手びねり成形

2.4 加飾方法

- ・化粧土による加飾
- ・釉彩いっちゃんによる加飾

2.5 焼成方法

- ・焼成窯炉：電気炉、酸化ガス炉・灯油炉、還元、炭化
- ・焼成温度：1250℃、850℃
- ・使用釉薬：石灰釉、土灰マット釉、無鉛M1フリット底下度釉

3. 結 果

試作品は、全国陶磁器試験所研究機関作品展開催実行委員会主催の「陶&くらしのデザイン展'98」に出品し、好評を得た。全国展のアンケートの内容の一部を紹介する。「もらったら嬉しいだろうな。」「贈り物に楽しさが倍加した。」「遊び心があって楽しい。器と中身（たとえば、ビアマグとビール）が、同じパッケージに入っていると、つくづく器は使うもの（飾り物ではなく）と、妙に納得できるのです。商品の選別も楽しい。」「おまけも楽しい」等。

これにより、笠間焼と茨城物産の特徴を活かし、楽しいギフト商品として、新しい展開が期待できる。今後は、試作品だけで終わらず、商品化を進めていきたい。



図1 試作品例



図2 試作品例



図3 試作品例